

つなげる力を、明日のために。トーカネットのコミュニケーションマガジン [ジョイント]

# JoinT



## 特集「医療をつなぐ」

岩手県立宮古病院／院長 佐藤 元昭氏

[伝統をつなぐ]

地域に根ざし、暮らしを彩る  
漆器のふるさとが守る技／浄法寺塗

[導入事例 JoinT's eye]

信頼性の高い医療情報ネットワークを実現  
つなぐ西北五広域連合様

08  
vol.  
表紙 “季節をつなぐ”

# 「伝統」をつなぐ

二戸市淨法寺町の「漆の森」。

つなげる力を、明日のために。トーカネットのコミュニケーションマガジン「JoinT」

# JoinT

vol.08 2014 September

CONTENTS

## 03 卷頭特集

インタビュー

### 「医療をつなぐ」

医療の役割分担と連携

地域医療の充実で医師不足解消へ

岩手県立宮古病院／院長 佐藤元昭氏

## 07 特集 伝統をつなぐ

地域に根ざし、暮らしを彩る  
漆器のふるさとが守る技／

淨法寺塗 滴生舎

## 09 おすすめ情報

われらのまちの「おっ！すすめ情報」

vol.08 宮城編

### 11 導入事例 JoinT's eye

信頼性の高い医療情報ネットワークを実現

つがる西北五広域連合様

### 13 JoinT's TOPIC

和太鼓同時演奏で、世界記録を達成した「盛岡さんさ踊り」

お客様紹介

ラジオ放送を通して地域に貢献する「エフエム山形」様

### 14 サービス紹介

TOHKnet ServeMall「V-CUBE ミーティング」「V-CUBE ドキュメント」

明日につなげ！ JoinT's TALK

「社員インタビュー」vol.08 営業本部

### 15 JoinT INFORMATION

読者 PRESENT

お客さま満足度の更なる向上を目指して

東北6県および新潟県を拠点とする電気通信事業者として、日頃より、皆さまには、格別のお引き立てをいただき心より感謝申し上げます。

この度、弊社の社長に就任いたしましたので、「JoinT」8号の紙面をお借りしましてご挨拶申し上げます。

情報通信を取り巻く環境は、激しく変化しておりますが、「安心・安全なネットワークを基盤に、お客さまにとって最適な情報通信環境を追求し、ともに事業と地域社会の未来に貢献します」という TOHKnet の使命を胸に刻み、精一杯努めてまいりたいと思います。私が、これまで心がけてまいりました「地域の皆さんに信頼していただける企業を目指す」ということに相通すると感じております。

弊社は、昨年、日経BPガバメントテクノロジー2013年秋号「第4回自治体ITシステム満足度調査」のネットワークサービス（有線型）部門において、2年連続で第1位を獲得いたしました。お客さまから信頼していただくため、全社員一丸となって設備の維持・保守、お客さまへの連絡・報告、そして課題解決のための提案など、弊社の日々の業務への取り組み姿勢を高く評価していただいた結果と受けとめています。

この現状に満足することなく、これまで以上に皆さんに信頼していただけるよう様々な取り組みを進め、お客さま満足度の更なる向上に努めてまいりますので、今後とも引き続き宜しくお願いいたします。

代表取締役社長 佐久間 洋



## 紹介状があると病院では有利なんですよ。

ればならぬので、丁寧に診てくれます。そして、病状が安定したら、またかかりつけ医に戻り、診療を受けられます。患者さんにとっては、診療所と病院に2人の主治医を持つことになるので、心強いですね」

### 地域医療の充実へ向けて

『あつたら良い病院』ではなく、『なければならない病院』を目指しているという佐藤院長。宮古病院では、より充実した地域医療の実現のため、地域医療福祉連携室を設置しました。佐藤院長は、連携室の室長も務めています。

「今は病院単独ではやっていけない時代。医科診療所はもちろん、歯科医師会や薬剤師会、介護施設などの連携も必要です。毎週1回患者サポートカンファレンスを開き、月1回は連携室会議も開催しています。今年の6月から催し始めました。けつこう評判が良くて、病院内から30人、病院外から50人以上集まるんですよ」

「コーディネーターとメディカルソーシャルワーカーとともに、地域の病院やクリニックへの訪問活動



③5階に設置された「外来化学療法室」。

④常時オープンしている、がん患者・家族サロン「はまぎく」。週2回、ボランティアスタッフによる傾聴や読み聞かせなども開催。

## 地域にとって「なければならない病院」に。

### 外来を減らし医師確保

地域の医療機能の役割分担と連携は、医師不足の解消にもつながっています。  
「宮古病院での私の使命は、医師の数を増やすこと。多い時で50人だったのが、震災の前年には約半数まで減少していましたから。原因は外来患者さんの多さです。外の診察が終わるのが午後3時4時で、そこから病棟の仕事や検査があり、回診は夜になってしまいます。そんな状態では医者も負担が大きくなりますよね。本来、地域の広域基幹病院の役割は、入院と検査、救急、手術です。そのため、外来を

動をしています。訪問先の医師や看護師と直接会って、意見交換し、地域の医療機関とのスムーズな連携を目指しています」

また、地域医療の充実には、行政や大学との連携も欠かせないと佐藤院長。

「当院は、『みやこサーモンケアンネット』という、宮古市の医療情報連携システムの中心的役割を担っています。岩手医科大学とは、『いわて東北メディカル・メガバンク』事業や、CT・MRIの画像情報を伝達し、遠隔医療を実践してデータを共有するなど、連携しています」



聞き手  
TOHKnet 岩手支社  
本田 明子

## 特集「医療をつなぐ」

本州最東端に位置する「岩手県立宮古病院」。宮古市をはじめ山田町、岩泉町、田野畠村を医療圏としています。この圏域唯一の広域基幹病院として、宮古病院が担う役割とは。東日本大震災直後に赴任した、佐藤元昭院長に伺いました。



# 医療の役割分担と連携 地域医療の充実で医師不足解消へ

岩手県立宮古病院 院長 佐藤 元昭氏(さとう もとあき)

**PROFILE**  
昭和51年、岩手医科大学医学部卒。国立病院医療センター（現国立国際医療研究センター）麻酔科勤務、岩手医科大学医学部法医学講座、同医学部第1内科科学（現消化器・肝臓内科）講座、岩手県立大槌病院内科長、岩手県立住田病院（現住田地域診療センター）院長、岩手医科大学医学部法医学講座非常勤講師、岩手県立軽米病院院長、岩手県立千厩病院院長。平成17年、岩手県立二戸病院院長。平成23年から、岩手県立宮古病院院長。

現在、宮古病院は、地域の広域基幹病院として、1次（初期）から2次（入院・専門外来）、3次（特殊・先進的）までの医療を行い、年間約1万2千人の救急患者の治療に当たっています。同じ医療圏の地域病院だった、岩手県立山田病院が、東日本大震災による大津波で被災。2次救急医療の輪番制に参加できなかったため、宮古病院が全夜間・休日の救急を、一手に引き受けている状況です。

「地域医療の充実には、地域の医療機関との連携が不可欠です。宮古病院では、医局員の約90%が地域医師会に加入し、宮古病院と診療所が役割を分担して、病診連携で医療を行うようにしています」

佐藤元昭院長は、以前から医療の役割分担と連携の必要性を強く訴えてきました。その課題の一つが、かかりつけ医を持つことへの理解です。

「かかりつけ医とは、自分の家から近い診療所、開業医の先生です。まず、かかりつけ医の先生の所を受診するように勧めています。そこで、検査や入院が必要な場合は診療情報提供書（紹介状）を書いて、専門医などに紹介してくれます。この紹介状があると、病院では有利なんですよ。紹介状を持ったきた患者さんは、診た医師は、紹介した診療所の先生に、返事を書かなければなりません」

### かかりつけ医の紹介状

少し減らしましょうということで、近隣の診療所と役割を分担してしました。当初は、住民の方々からの苦情も多かったですが、機会を見つけて説明して、少しずつ理解していただいています。おかげで現在は、医師の数は37人まで増えました。あと3~4人は欲しいところですね」

## 病棟病床の再編成へ

外来の縮小だけでなく、佐藤院長は、病棟を一つカットし、一般の病床数を363床から279床に削減しました。救急医療も担う宮古病院には、当直勤務がありましたが、医師の数に対してベッドが多いと、当直勤務医師の負担が大きくなります。

「当然、反発はありましたが、患者さんの動向や病床利用率などを鑑みた結果です」

病棟を削減した5階フロアには、がん診療の充実を図るため、外来化学療法室を5床から12床に整備・拡充したほか、患者さんや家族のためのがんサロンを開設しました。また、岩手医科大学が主体となっている、被災地の子ども心のケアのための「いわてこどもセンター」事業に協力。宮古ブランチとして場所を提供しています。さらに、4階を小児・女性専用病棟としたほか、救急外来から即入院可能なER病床を7階病棟に配置しました。これら病棟病床の再編成は、地域の医療機関との役割分担と連携があつてこそ実現するもので、結果として、質の高い医療を地域に還元できるのです。

## マンパワーがあつてこそ



①研修室。2014年は2人の研修医が入り、6人で使用しています。  
②病院駐車場からは、宮古市街と太平洋が一望できます。  
③医師たちが自由に集う食堂には、院内LANでつながっているパソコンを設置。症例の画像確認などが行われることも。

岩手県立宮古病院  
岩手県宮古市崎嶽ヶ崎1-11-26  
TEL.0193-62-4011  
<http://www.miyanohp.jp/>

## 充実した医療を提供

「今、医師の増員と併せて、取り組んでいるのが、研修医の確保です。一時期、一人だけの時もありました。が、現在は6人の研修医がいます。宮古病院は、麻酔科や放射線科に常勤医がいる周産期医療体制(※)がしっかりと、結核病棟を持つなど、総合診療科的な研修には最適です」

研修終了後、宮古病院に残る研修医がいれば、医師の増員につながり、病院にとってはプラスになります。医師がいれば、医師の増員につながり、病院にどうてはプラスになります。

また、地元の中学生・高校生が、医師の仕事に関心を持ち、志すきっかけをつくるための体験学習や研修なども行っています。

「中学生には、実際に白衣を着用し、機器を操作できる『一日ドクター体験』を開きました。高校生には、医学部進学についての講演を行い、地域医療への関心を高めるための取り組み、奨学金制度、地域枠推薦などについて話しました」

医師不足解消の一つという、この取り組みは、もはや病院のみでなく、宮古地区全体の将来を見据えた試みとなっています。

佐藤院長の「あつたら良い病院ではなく、なければならない病院になる」という言葉が、とても印象に残りました。地域の中で病院が役割分担し、連携することは、それの病院が患者さんときちんと向き合い、より親身で細かな対応につながるんですね。

TOHKnetの価値観の一つに、「お客さま本位」があります。具体的には「お客さまに『細かく、打てば響く』と感じていただけること」です。私自身、お客様に身近で必要な営業担当でありたいと思っています。

私は、何かあつたらすぐに、お客様を訪問し、直接お話を伺うように心掛けています。佐藤院長の果たすべき使命感を持つて、患者さんに寄り添うというお話を伺い、親身になること、信頼関係を築くことの重要性を実感しました。

お客様のために、先輩方の協力をもらいながら、会社として連携して、仕事に取り組む。そして、何があったら「TOHKnetのホンダさん」と頼りにされるような、お客様にとって「なくてはならない存在」になりたいです。

## インタビューを通して感じた「つなぐ思い」とは…



かかりつけ医を持つことの大切さや  
地域医療の充実に欠かせないことを分かりやすく  
説明する佐藤院長の言葉に、  
患者さんへの思いを感じました。



かかりつけ医を持つことの大切さや  
地域医療の充実に欠かせないことを分かりやすく  
説明する佐藤院長の言葉に、  
患者さんへの思いを感じました。

## 役割分担や連携は質の高いサービスを提供するため必要と感じた瞬間

※妊娠・出産から新生児まで一貫した高度かつ専門的な医療を提供する体制。

院可能なER病床を7階病棟に配置しました。これら病棟病床の再編成は、地域の医療機関との役割分担と連携があつてこそ実現するもので、結果として、質の高い医療を地域に還元できるのです。

## 地域の未来を見据えて

# 伝統をつなぐ

〔浄法寺塗／滴生舎(てきせいしゃ) 岩手県二戸市〕

## 地域に根ざし、暮らしを彩る 漆器のふるさとが守る技

八葉山天台寺が建立された約1200年前に遡る浄法寺塗。

僧により広まった塗りの技術と日常使いの漆器は、  
漆一滴を慈しむ人たちの手で、今もなお大切に守り、伝えられています。

片口とこくら。こくらは、昔から、どぶろくや甘酒を飲む酒器として使われ、今でも根強く愛されています。

町の漆は、ウルシオールの含有率が高く、良質な漆として知られています。これまで金閣寺、中尊寺金色堂、日光東照宮など、日本の代表的な文化財の保護に重要な役割を果たしてきました。二戸市と岩手県は、平成20年に「浄法寺塗認証制度」を設け、浄法寺ブランドとして品質の保持に努めています。浄法寺塗の発祥と深い関わりがある八葉山天台寺。その昔、地元の人々は親しみを込め「御山」と呼び、僧たちにより庶民の間に広まつた漆器を、「御山御器(おやまごき)」と呼んでいました。この天台寺の麓の「滴生舎」では、浄法寺の漆を使った漆器や漆芸品を展示販売。併設の工房では塗りの作業が行われています。滴生舎で塗師をしながら、浄法寺塗の普及やPRの仕事をこなす小田島勇(おだしまいさむ)さんは、「戦後、生活の変化や、安価な輸入漆の参入により、浄法寺塗は途絶えそうになりました。しかし、昭和50年代に入り、漆搔き職人の岩館正二さんを中心に『浄法寺塗器工芸企業組合』が設立され

ました。そして、息子の隆さんも活動に加わり、再び漆器づくりが復活したそうです」と、話してくれました。岩館隆さんは、小田島さんが師とあおぐ塗師です。浄法寺町では、復活した漆の文化を守り続けるため、漆搔き職人たちは漆の木を育て、塗師たちは国産漆にこだわり漆器を作り続けています。また、町には「日本うるし搔き技術保存会」があり、約25名の職人がいます。しかし3分の2が60代以上であることから、後継者の育成を進め、技術の向上にも取り組んでいます。現在、浄法寺町には30代から60代の塗師が10名。そのうち4名が滴生舎で漆器を作っています。滴生舎から独立して活動している人もいるそうです。

「1本の漆の木から取れる漆の量は一年で牛乳びん1本ほどなんですね」と小田島さん。たいへん貴重な漆だからこそ、漆搔き職人は、一滴の無駄もなく大切に採取し、塗師は貴重な漆を大事に使いたい製品を作っているのです。使うほどに味わい深い浄法寺の漆器。漆のふるさとでは、伝統の技が大切に受け継がれています。



⑥「ねそり」。「若い方に人気です。これでコーヒーやお茶を飲むとおいしいですよ」と小田島さん。⑦滴生舎の塗師たちも愛用しているという「弁当箱」。⑧平成7年に旧浄法寺町が開設した滴生舎。漆器の購入はもちろん、修理の相談にも応じてくれます。⑨浄法寺生まれの小田島勇さん。二戸市の職員として4年間木工の仕事をした後、塗師の道に入りました。

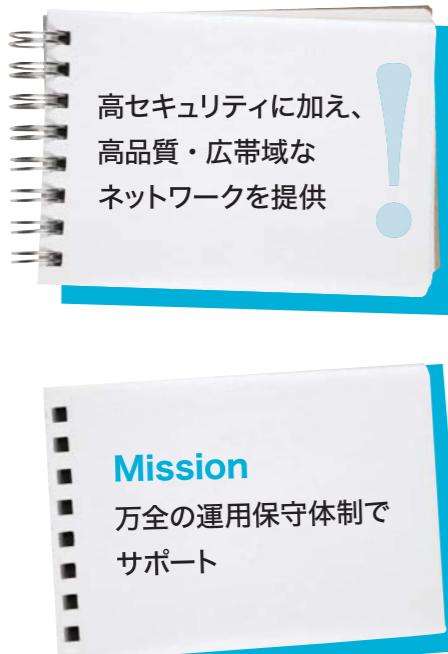
滴生舎  
岩手県二戸市浄法寺町御山中前田23-6  
TEL.0195-38-2511  
E-mail:tekiseisya@city.ninohe.iwate.jp  
URL:<http://www.tekiseisha.com/>



万全な医療情報ネットワークとは。要望から課題の解決に導いた事例をご紹介。



担当者／TOHKnet 青森支社  
佐藤 隼



### Point

外部からの侵入が不可能なクローズドネットワーク

24時間・365日有人監視・保守で、万一の時も迅速に復旧

将来性を見込んだ広域なネットワーク

当初、つがる西北五広域連合様から、補助金を活用して、自前で光ファイバを敷設する構想があることを伺いました。維持・メンテナンスのランニングコストが高いこと、障害が発生した場合は復旧に時間を要することなどを説明させていただき、通信キャリアのサービスの利用をおすすめしました。他社も含めてご検討いただいた結果、コストなどの面から当社を選んでいただきました。

医療情報向けネットワークは、個人情報を取り扱いますので、システムやネットワークには強固なセキュリティと、徹底した運用管理が必要です。また、24時間365日の有人監視・保守が行われ、障害や災害時も滞りなく、サービスが継続されなければなりません。つがる西北五広域連合様には、セキュリティと信頼性が高く、他の自治体様への提供実績が豊富な、高速イーサネット網サービス「V-LAN」を、

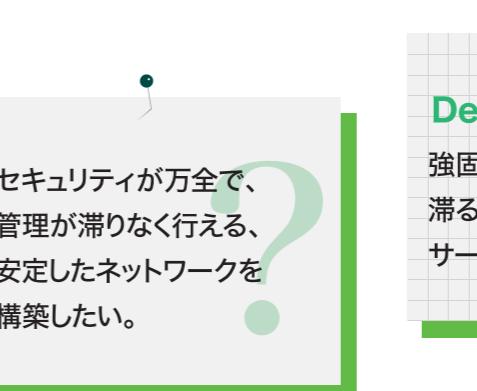
### システムのセキュリティと信頼性を確保するネットワーク

ご提案しました。

「V-LAN」は、広域で安価な料金を実現したネットワークサービスです。今後も、万が一、回線障害が起きた場合、トラブルを最小限に抑えるために、回線の二重化など、お客様のニーズに応じた新たな提案ができるよう、努めています。

# 信頼性の高い医療情報ネットワークを実現

つがる西北五広域連合様



病院運営部 運営統括課  
課長 成田 弘人 様(なりた ひろと)

**万全なネットワーク環境を構築し地域の医療情報連携システムを活用質の高い医療を効率的に提供**



つがる総合病院のサーバ室。  
システムのバックアップカセットを交換している様子。

医療情報データが厳重に管理されています。

つがる西北五広域連合が取り組む自治体病院機能再編成に伴う、医療連携システムのネットワークを提案していただきました。地域の医療機関が連携することで、圏内で完結できる効率的な医療体制を作るためのネットワークで、その運営主体は広域連合となっております。

つがる総合病院（五所川原市）※旧西北中央病院を中心病院として、かなぎ病院（五所川原市）、鰺ヶ沢病院（鰺ヶ沢町）つがる市民診療所（つがる市）、鶴田町をサテライト医療機関と位置づけた、診療情報共用するネットワークの構築が必要でした。医療情報連携システムは、オーダリングシステム（OIS）から始まって、そこに電子カルテとして必要な情報を付け足していくわけです。そのネットワーク化について、数社から提案いただきました。

導入の決め手は、コスト面とレスポンスの良さです。さまざまな注文を前向きに検討し、対応してくれて助かりました。すでにシステムが稼働していた旧西北中央病院から、500メートル離れた場所に建てた、つがる総合病院への引っ越しがありました。そのため、その間も機能が途切れることなく、5病院で電子カルテを見られる状態にしておく必要がありました。古い建物と新しい建物を一つの建物とらえた作業をしなければならず、大変だったと思います。

また、患者さんの個人情報を扱うので、セキュリティに関して万全な提案をしていただきました。今後、民間病院との連携も目指しており、セキュリティについて、さらに考えていく必要がありますので、いろいろと提案していただきたいと思います。

導入の決め手は、コスト面とレスポンスの良さです。さまざまな注文を前向きに検討し、対応してくれて助かりました。すでにシステムが稼働していた旧西北中央病院から、500メートル離れた場所に建てた、つがる総合病院への引っ越しがありました。そのため、その間も機能が途切れることなく、5病院で電子カルテを見られる状態にしておく必要がありました。古い建物と新しい建物を一つの建物とらえた作業をしなければならず、大変だったと思います。

また、患者さんの個人情報を扱うので、セキュリティに関して万全な提案をしていただきました。今後、民間病院との連携も目指しており、セキュリティについて、さらに考えていく必要がありますので、いろいろと提案していただきたいと思います。

導入の決め手は、コスト面とレスポンスの良さです。さまざまな注文を前向きに検討し、対応してくれて助かりました。すでにシステムが稼働していた旧西北中央病院から、500メートル離れた場所に建てた、つがる総合病院への引っ越しがありました。そのため、その間も機能が途切れることなく、5病院で電子カルテを見られる状態にしておく必要がありました。古い建物と新しい建物を一つの建物とらえた作業をしなければならず、大変だったと思います。

## 広域運営組織として病院を一体運営 Introduce [TSUGARU SEIHOKUGO REGION UNION]

「つがる西北五広域連合」は、五所川原市、つがる市、鰺ヶ沢町、深浦町、鶴田町、中泊町で構成される市町村連合。津軽広域連合に次ぐ、青森県内2番目の広域連合として、平成11年3月に誕生しました（発足当時は14市町村）。広域連合の仕事は、組織する市町村の協議に基づいた、市町村圏計画の策定や、介護認定審査、障害者自立支援に関するなど、多岐にわたります。

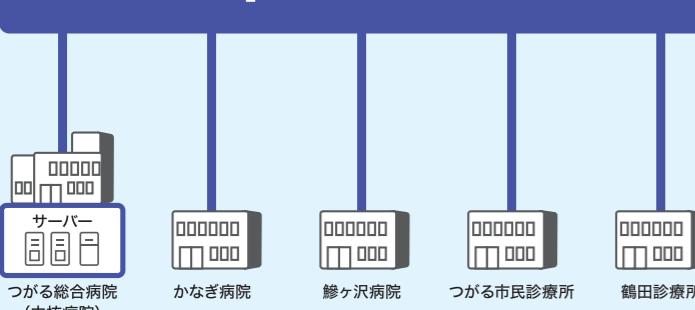
その一つとして、平成13年より青森県主導のもと進められてきたのが、「自治体病院機能再編成計画に係る中核病院及びサテライト医療機関の設置及び管理運営に関する」事業です。圏域の中核病院が急性期医療を担い、周辺の病院が回復期医療や外来診療、健康管理を行って、地域の医療機関が連携することで、質が高く、効率的な医療体制の構築を目指しています。



圏域の中核病院「つがる総合病院」の外観。  
青森県五所川原市字岩木町12-3 つがる総合病院内3階  
TEL. 0173-38-1000（事務局）

## 「V-LAN」で信頼性の高いネットワークを構築

### 「V-LAN」(高速イーサネット網サービス)



「V-LAN」は、多拠点間を高セキュリティ、高品質、広帯域なネットワークで接続したいお客さまに、おすすめのサービスです。医療情報向けのネットワーク回線に求められる、外部からの侵入が不可能なクローズドネットワーク、サービス品質保証制度（SLA）を備えた信頼性の高いネットワーク、24時間365日の保守体制など、セキュリティと信頼性を確保するサービスです。

また、ルーターなどCPEレンタルをご利用いただくことで、ネットワークサービスとCPEをTOHKnetが一括して保守いたしますので、お客様のご負担を軽減させることができます。

※文中に記載の組織名・所属・役職・サービス名などはすべて2014年7月時点のものです。



# JoinT INFORMATION

## PRESENT!

「JoinT」をお読みいただきましてありがとうございました。

第8号は岩手県の「人」と「技」の特集、宮城県地域情報などをご紹介しました。

今後も皆さまのご意見を参考に、よりよい誌面作りを行ってまいりますので、ぜひアンケートにご協力ください。

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で下記の賞品をプレゼントいたします。



A 「滴生舎」の浄法寺塗

2名さま

### 小鉢・朱

(材質:トチ、浄法寺塗、中国産漆 サイズ:直径120×高さ56mm)  
岩手県二戸市在住の伝統工芸士・岩館隆氏が自ら精製した  
浄法寺塗を上塗りに使用し、製作された小鉢。暮らしを彩り、  
長く愛用できる漆器です。



B 「Kazunoli Mulata」の  
マカロン

3名さま

### マカロンギフトBOX(10個入)

10種類の味が楽しめる人気のマカロン。ショコラ・抹茶・ゴマ・  
ショコラ&カシス・キャラメル・ピスタチオ・コーヒー・イチゴ・コ  
コナツ・レモンの定番の味が楽しめます。

※クール便で発送します。消費期限は冷蔵保存で5日程度です。



C 「白松がモナカ本舗」の  
栗羊羹

3名さま

### 栗羊羹(中型)

昭和7年に創業した仙台の老舗がおすすめする人気の栗羊羹。  
自社栗園で丹精込めて育てられた栗を使い、吟味された寒天と、  
独自の技術で練り上げた、味とコシが自慢です。幅広い年代の方  
に好まれています。

応募方法  
下記URLより「JoinT読者プレゼント」にアクセスして、アンケートにお答えの上、ご応募ください。

<https://www.tohknet.co.jp/joint/>



締め切り/2014年10月31日(金)

当選発表/厳正なる抽選の上、賞品の発送をもって発表に代えさせていただきます。

※応募に際していただきました個人情報につきましては、本誌プレゼントの運営および「JoinT」の編集に役立てる目的のみ使用いたします。

「JoinT」バックナンバーはHPでご覧いただけます。<http://www.tohknet.co.jp/>

◎お問い合わせ TEL:022-799-4211 ※受付時間/平日 9:00~17:00

e-mail: joint@tohknet.co.jp